

別紙 3 - 2 (様式第 8 号添付用)

提案型協働事業報告書 (活動支援交付金)

団 体 名	武豊町防災ボランティアの会
1 該当する第 6 次総合計画の 9 つのまちづくりの目標	「まちづくり目標」 災害に強く、安全・安心に暮らせるまち
2 解決へ向けて取り組んだ地域課題	・令和 3 年策定した「武豊町水害ハザードマップ」に記載されている内水及び外水浸水予想図、土砂災害警戒区域図を考慮して、避難の必要性和自宅避難か自宅外避難かを認識する必要がある。 ・百年千年一の想定による避難行動が取れる図上訓練が出来てない。
3 協働対象部署	防災交通課
4 事業の内容等  (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業 PR の方法 (5) その他	(1)実施内容と方法： ①自主防災連絡会等で水害及び土砂災害リスクのある地区からの避難について図上訓練を提案し、戸別に避難経路の点検の実施と避難行動判定ワークシートから避難行動タイムラインの認識を行った ②地区防災計画「避難の理解力向上」への寄与 ③中学校へ防災授業として取組み子供と保護者への周知 (2)実施場所：地区公民館等指定会場と富貴中学校 (3)対象者： ①町内 1 8 区住民(区 18 区中 4 区実施)と希望団体 ワークシート配布枚数 自主防災連絡会 260 枚、玉西一区 1,300 枚、北山区 60 枚、玉東区 1,000 枚、馬場区 200 枚、婦人会 50 枚、富貴カワ 40 枚、玉宝会 50 枚、保健推進連絡会 40 枚、小迎カワ 50 枚配付 ②富貴中学校 1 年生 2/1 防災教育授業の実施予定であったが、コロナ禍により資料の提供のみ行い、各クラス単位での取組みとなった。 ワークシート配布枚数 150 枚 (4)事業 PR：自主防災連絡会で各区長、各団体に取組み方法等を説明し、避難行動タイムラインの大切さを普及周知活動した。 災害リスク認識にはマップで示す事が重要であり、浸水深をグラデーション色彩マップボードを行った (5)その他
5 事業実施により得られた効果	近年起こりうる大規模な災害について図上訓練をしたことで、災害認識が得られ、我が事として納得して取組みしてもらうことが出来た。 水害避難タイムライン、避難スイッチの認識が出来たとの評価を頂いた。
6 次年度以降の事業展開	・町の危険カ所を顕在化させる事で地区の避難行動の安全性と実効性を高め、備える大切さが参加者に理解されると考えている。引き続き、避難行動への理解力向上に向け周知活動を行う ・中学校の防災授業において自宅の防災カ所と災害ワークシートを作成してもらい災害リスクについて、子供を通じて保護者とも共有してもらおう
7 その他	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。